序文……7
第一章　浦賀外交の前史……11
三浦郡浦賀湊　11　徳川以前の交易　13　サン・フェリペ号事件の爪痕　14
第二章　開国への大転換……17
家康のスペイン交渉　17　宣教師ジェズスの引見　18
鉱夫・造船技師の派遣要請　22　家康使者の渡海　24
江戸天主堂の建立　25　宣教師ジェズスのマニラ渡海　27
ジェズスの死　30　八幡船　31　対スペイン交渉による朱印船制度創設　32
第三章　ウイリアム・アダムスの上陸……37
アダムスの上陸　37　アダムスの謁見　40
アダムスの重用　43　リーフデ号の積荷　46
リーフデ号の大坂・浦賀廻航　48
リーフデ号の解体とエラスムス像　50　日本初の欧式帆船　53
第四章　三浦按針と向井将監……57
三浦按針の妻と江戸邸　57　向井将監の江戸邸　60

幕府御船蔵　63　三浦按針の三浦郡逸見邸　64
慶長六年のスペイン船漂着　68　向井将監忠勝　73

第五章　スペイン船の浦賀入港……77
古来の仕来り破る　77　スペイン船の浦賀廻航　79
三浦按針のマニラ渡海　82　浦賀津の高札　85
浦賀フランシスコ修道院　87　三浦按針の浦賀邸　89

第六章　オランダ・イギリス貿易と浦賀……93
ある奇跡屋の挑戦　93　オランダ交渉と浦賀　95
イギリス交渉と三浦按針　98　セーリスの浦賀湊の評価　103
イギリス商館と浦賀代理店　106　セーリスの帰国　108
水銀の買上げ　109　浦賀外交と三浦按針　110

第七章　フィリピン総督ビベロとの交渉……113
フィリピン総督ビベロの岩和田漂着　113
鉱夫派遣の再交渉　115　三浦按針船・初の太平洋横断　120
洛商田中勝介と西宗真　122
佐渡における水銀製錬　124

第八章　返礼大使ビスカイノの浦賀入港……127
大使ビスカイノの浦賀入港　127
代官頭長谷川氏と船奉行向井氏　128　ビスカイノの謁見　131
朱印状交付と向井氏　134　向井将監忠勝と浦賀貿易　135
ビスカイノによる向井将監忠勝の評価　137
第九章　ビスカイノの金銀島探検……141
ビスカイノの金銀島探検　141　日本侵略の意図　144
第十章　伊達政宗遣欧船……147
伊達政宗遣欧船とソテーロ　147　政宗船建造と向井将監忠勝　150
政宗船サン・ファン・バウティスタ号の出帆　153
長文の禁教令　158　欧州における支倉六右衛門　159
第十一章　伊達政宗遣欧船の浦賀帰帆……163
返礼大使カタリーナの浦賀来航　163
禁教下の大使カタリーナ　165　大使カタリーナの追放　170
向井将監忠勝の委託貿易　171　向井将監忠勝の船頭の死　176
政宗船の行方　178　支倉六右衛門と政宗船の末路　178

第十二章　貿易港浦賀の閉鎖……185
三浦按針と平戸制限令　185　貿易港浦賀の閉鎖　189
船手頭向井氏らの西国巡視　190　船手頭と平戸商館の破壊　193
浦賀外交における三浦按針の評価　195　三浦按針の死　197
二代三浦按針ジョセフ　200　浦賀開港の意図　204
第十三章　浦賀貿易とキリシタン……207
西国のキリシタン大名　207　浦賀貿易とキリシタン　209
船手頭小笠原権之丞の入信　211
船奉行向井氏とキリシタン　212　隠れキリシタン　214
第十四章　鎖国令と江戸湾の海関……219
鎖国のなかの三崎・走水番所と下田奉行　219
浦賀外交の評価　223
最後に……226